

レジメン名	診療科
IsaPd	血液内科

適応疾患
再発又は難治性の 多発性骨髄腫

1クール	28日間
総クール	奏功中継続
休薬期間	6日間

薬剤名	投与量 (mg/m ²)	投与日 (d1~d5、d1、d8等で記入)
イサツキシマブ	10mg/kg	1クール目:d1, 8, 15, 22 2クール目以降:d1, 15
デキサメタゾン	40mg/body	1クール目:d1, 8, 15, 22 2クール目以降:d1, 15
ファモチジン	20mg	

内服併用薬	投与量 (mg/m ²)	用法	投与日 (d1~d5, d1, d8等)
ポマリドミド	4mg/body	寝る前	d1-d21
デキサメタゾン	40mg/body	朝食後	2クール目以降:d8, d22
アセトアミノフェン	900mg	イサツキシマブ 30分前	1クール目:d1, 8, 15, 22
ポララミン	4mg		2クール目以降:d1, 15

処方 (輸液・プレメジ・ポストメジを含む)

番号	薬剤名・用量 (mg/m ²)	投与方法	投与時間	投与日 (d1~5等)
①	デキサート40mg+ファモチジン20mg+Ns50mL	DIV	30分	1クール目:d1, 8, 15, 22 2クール目以降:d1, 15
②	サークリサ10mg/kg + 5%糖液(対応量)	DIV	下記参照	1クール目:d1, 8, 15, 22 2クール目以降:d1, 15
③	5%糖液50mL(フラッシュ用)	DIV	10分	1クール目:d1, 8, 15, 22 2クール目以降:d1, 15

備考 (減量・中止の基準を記載してください)

・コース開始時Grade3~4の好中球減少がある場合、 $1.0 \times 10^3/mm^3$ に回復してから次コースを開始する。

【サークリサ投与速度】

175mg/時間の投与速度で点滴静注を開始し、患者の忍容性が良好な場合は患者の状態を観察しながら投与速度を以下の様に段階的に上げる事が出来る。ただし、投与速度は400mg/時間を超えないこと。

	0~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分以降
1回目投与	175mg/時間	225mg/時間	275mg/時間	325mg/時間	375mg/時間	400mg/時間
2回目投与	175mg/時間	275mg/時間	375mg/時間	400mg/時間		

【infusion reaction発現時】

grade2: Grade1以下に回復した場合には、投与速度を87.5mg/時間として再投与することができる。

忍容性が確認されれば30分毎に50mg/時間ずつ最大400mg/時間まで投与速度を上げる事が出来る。

grade3, 4:ただちに投与を中止する。原則、再投与しないこと。